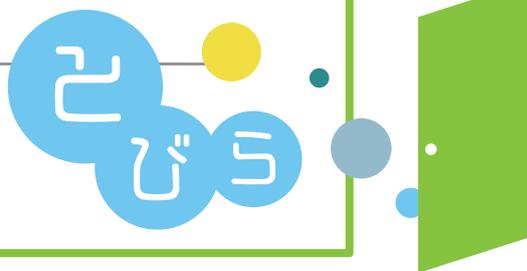


# 特集《委員会》 — 3常任委員会の役割 —



柏崎市議会だより

## ギカイの



No.196 令和6(2024)年5月5日発行

### 今回の表紙

#### 令和6年度予算案を審査する 予算決算常任委員会

予算・決算に関する議案は付託された予算決算常任  
委員会で審査を行います。

(場所 委員会室)

### もくじ

■ 特集《委員会》	P2・3
■ 新年度予算が決まりました、賛否一覧	P4～8
■ 柏崎刈羽原子力発電所の 再稼働に関する請願を採択	P9
■ 委員会審査報告	P10・11
■ 一般質問	P12～15
■ 先進地を視察しました	P16
■ 新年度のスタートに当たって	P17
■ ギカイのうごき	P18・19
■ 6月定例会議の予定 ほか	P20

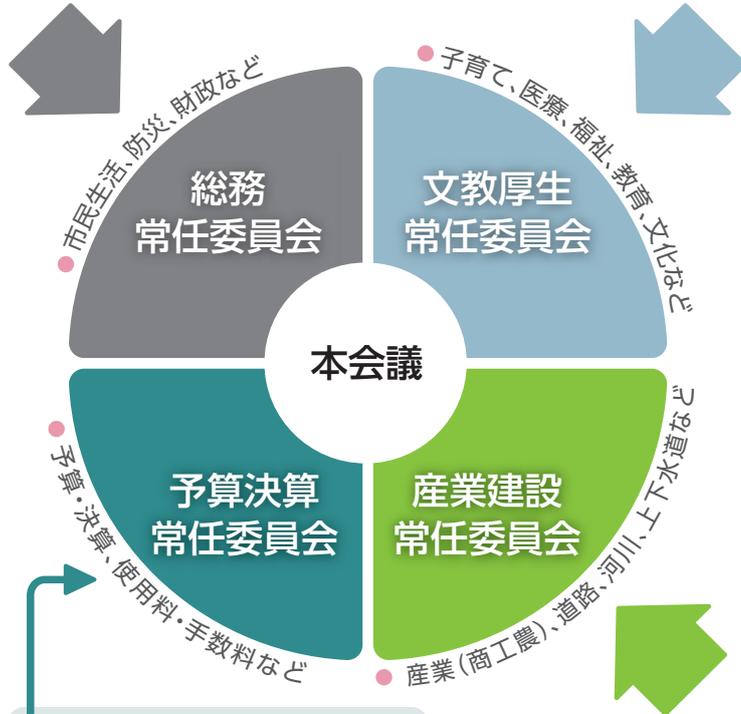


# 特集

## 《委員会》

総務／文教厚生／産業建設

# 3 常任委員会の役割



柏崎市議会では、議長を除く21人の議員が三つの常任委員会（総務・文教厚生・産業建設）に分かれ、議案や請願・陳情などの詳しい審査を行います。常任委員協議会として、担当部局から報告を受けることもあります。

また、市民や関係団体との意見交換や、より良い柏崎市政に向けた調査・研究を行っています。



常任委員会

3 常任委員会の委員は、予算決算常任委員会の分科会として予算・決算に係る審査を行います。

## 総務常任委員会

- 委員長 佐藤正典
- 副委員長 近藤由香里
- 委員 布施 学 山本博文 持田繁義  
佐藤和典 星野正仁



担当部局



市民生活、財政、マイナンバーカード、エネルギー、防災、消防などを担当し、今期は **地域公共交通** に重点を置いて研究しています。

総合企画部

財務部

市民生活部

危機管理部

消防本部



## 文教厚生常任委員会

- 委員長 春川敏浩
- 副委員長 五位野和夫
- 委員 星野幸彦 三嶋崇史 西川弘美  
重野正毅 上森 茜

check!

担当部局



### 福祉保健部



### 子ども未来部



### 教育委員会



子育て、医療、介護、福祉、学校教育、生涯学習、文化振興、スポーツ振興などを担当し、今期は **子育て環境の充実** に重点を置いて研究しています。

## 産業建設常任委員会

- 委員長 阿部 基
- 副委員長 田邊優香
- 委員 山崎智仁 池野里美 三宮直人  
相澤宗一 真貝維義

check!

担当部局



### 産業振興部



### 都市整備部



### 上下水道局



工業、商業、農林水産業、インフラ整備、除雪、水道事業などを担当し、今期は **産業支援（補助金・助成金）の在り方** に重点を置いて研究しています。

# 新年度予算が決まりました

～ 令和6(2024)年度予算案を全て可決～

## ● 合計当初予算額

833億6918万6000円

内  
訳

● 一般会計予算 478億円

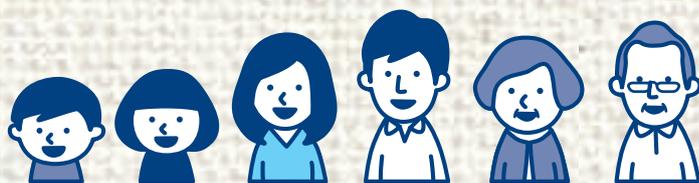
● 特別会計予算  
193億2980万7000円

● 公営企業会計予算  
162億3937万9000円

令和6(2024)年度当初予算案と施政方針演説に対して、2月29日の本会議で7つの会派が代表質問を行いました。主な質問項目は、5ページのとおりです。

予算決算常任委員会での審査については、6・7ページをご覧ください。

3月21日の本会議で一般会計予算案に対して5人の議員が討論を行いました。採決の結果、一般会計・後期高齢者医療特別会計・水道事業会計の三つの予算は賛成多数で、その他の予算は全会一致で可決されました。議員の賛否状況は7ページ、一般会計予算に対する討論の要旨は8ページをご覧ください。



区 分		令和6(2024)年度	令和5(2023)年度	増減率
一般会計		478億円	472億円	1.3%
特別会計	国民健康保険事業	88億3363万9千円	89億5450万7千円	△1.3%
	後期高齢者医療	12億3565万7千円	10億7179万1千円	15.3%
	介護保険	89億9817万9千円	94億3917万7千円	△4.7%
	土地取得事業	2億2498万3千円	5693万4千円	295.2%
	墓園事業	3734万9千円	811万7千円	360.1%
公営企業会計	水道事業	57億6579万2千円	58億142万9千円	△0.6%
	下水道事業	104億7358万7千円	88億2726万9千円	18.7%

# 代表質問で問う

【市長の施政方針と令和6(2024)年度予算】

## 柏崎の風



星野正仁



阿部 基

- 櫻井市長の考える原子力発電所再稼働
- 少子高齢化の影響と対策
- 柏崎市の将来像  
ほか

## 民社友愛



佐藤和典

- 大変革期を生き抜く「柏崎流」イノベーション
- DXとGXの同時推進による地域課題の解決
- 先送りできない課題の対応
- 柏崎刈羽原子力発電所の正常化
- 原子力発電所立地自治体の責任と矜持

## 公明党



真貝 維義

- 令和6(2024)年度施政方針から見る市政運営
- 国の「子ども・子育て加速プラン」における「子どもを取り巻く環境の充実」施策の展開
- 2035年カーボンニュートラルと地域経済振興

## 日本共産党柏崎市議員団



持田 繁義

- 「柏崎の可能性を見いだすための予算」とする背景と展望
- 子育て施策の充実、一貫性と持続性
- 産業イノベーションの推進と人材育成
- 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働との関係性

代表質問とは、市長の施政方針や令和6(2024)年度の市政執行の全般的なことについて、会派の代表者が市長に対して、その方針や考え方を質問するものです。

録画映像



質問項目



## 柏盛クラブ



三宮直人

- 柏崎市の可能性と強み
- 柏崎市職員の健康の維持増進

## 自治研究会



布施 学

- 重点戦略1(子どもを取り巻く環境の充実)
- 重点戦略2(大変革期を乗り越える産業イノベーションの推進)

## 社会クラブ・柏崎のみらい連合



佐藤正典

- 施政方針の重点戦略における産業イノベーションの推進
- 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働
- 柏崎の基幹産業であるものづくり産業への支援
- 子ども・子育て・教育
- 健全な自治経営と重要施策を推進していくための組織の在り方



## 令和6(2024)年度予算案の審査について報告します

予算決算常任委員会（重野正毅委員長、持田繁義副委員長）において、3月4日の全体会で総括質疑を行いました。3月8日から15日にかけて行われた分科会の審査について、3月19日の全体会で分科会長が報告しました。

### 総務分科会

■分科会長 佐藤正典 ■副分科会長 近藤由香里  
■委員 布施 学・山本博文・持田繁義・佐藤和典・星野正仁

#### 「市民生活の安全・安心確保」に注目して審査しました

##### 審査のポイント

災害や事故などに迅速に対応し、市民の安全・安心を確保する予算編成となっているか。

##### 主な対象事業

- ・常備消防施設管理費（510万1000円）

##### 主な質疑

Q Live119システムの詳細は。

- A 火災や事故などで通報するときに、映像・音声をスマートフォンから消防指令室に伝送するシステム。令和6年7月1日から運用を開始する。

##### 主な対象事業

- ・災害時備蓄品等管理事業（2961万1000円）

##### 主な質疑

Q 新たに整備する停電対策のための資器材の詳細は。

- A 高出力・高性能のポータブル蓄電池（1台約12万円）を200台購入して全ての町内会に配備する。停電が発生した後の初動対応の強化を図る。

### 文教厚生分科会

■分科会長 春川敏浩 ■副分科会長 五位野和夫  
■委員 星野幸彦・三嶋崇史・西川弘美・重野正毅・上森 茜

#### 「人材確保・人材育成の促進と強化」に注目して審査しました

##### 審査のポイント

人材確保と人材育成を強く推し進める予算となっているか。多様化する市民ニーズに応える予算となっているか。

##### 主な対象事業

- ・介護従事者等人材確保・育成事業（4968万7000円）

##### 主な質疑

Q 新規事業である「介護のしごと魅力発信・創出事業」を含めた事業全体の今後の展望は。

- A 就職支援については若い世代への支援が厚くなるよう制度の見直しを行う。資格取得の補助金は職員の賃金改善に取り組む事業

所に対して補助率を上げるなどして人材確保を図る。





 委員会の録画映像は **YouTube** で  
見ることができます



審査結果

## 産業建設分科会

■分科会長 阿部 基 ■副分科会長 田邊優香  
■委 員 山崎智仁・池野里美・三宮直人・相澤宗一・真貝維義

### 道の駅「風の丘米山」の再整備に注目して審査しました

#### 審査のポイント

市の観光拠点となる一大事業である。市内事業者と連携できているか、市民の理解は得られているか。

#### 主な対象事業

- 道の駅風の丘米山整備事業  
(2億2981万8000円)

#### 主な質疑

- Q 令和6年度の事業内容は。
- A ハード面では実施設計に着手し、国道側の道の駅に編入するための用地買収も並行して進める。ソフト面では民間事業者が整備する商業施設の営業形態を見極めながら、イベントなどの集客策、具体的な連携の検

討を進める。

- Q 再整備と一緒に進める民間事業者と事業の進捗を共有し、認識は一致しているのか。
- A 民間事業者も再整備を進めることで認識は市と一致している。今後スケジュールに変更が生じる場合は、議会などに説明の機会を設ける。
- Q 市民の理解度向上、市内事業者との連携に向けた取り組みは。
- A 商工会議所や観光協会の協力を得て市内事業者への説明を行ってきた。引き続き、幅広く市民と意見交換を行い、より理解が得られるように取り組みを進めたい。

私たちは



賛成 × 反対 しました

議員の賛否状況



議員賛否一覧（2月随時会議、2月定例会議の採決において賛否が分かれた議案など）

議決日	議案	布施学	山崎智仁	星野幸彦	佐藤正典	池野里美	三嶋崇史	近藤田香里	田邊優香	山本博文	西川弘美	持田繁義	五位野和夫	重野正毅	三宮直人	相澤宗一	佐藤和典	柄沢均	上森茜	阿部基	春川敏浩	星野正仁	真貝維義
3月21日	令和6(2024)年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
3月21日	令和6(2024)年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
3月21日	令和6(2024)年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
3月21日	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する請願	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○

○は賛成 ×は反対 柄沢 均議長は採決に加わりません。



録画映像

## 私たちはこのような理由で

賛成しました



反対しました

### 日本共産党柏崎市議員団

①学校給食費無償化が視野に入らないなど、子育て支援が不十分。 ②電源立地地域対策交付金の使い方に問題あり。 ③道の駅「風の丘米山」の再整備に展望が見えない。訪れる人たちを市の中心部に引き付けられるか。 ④脱炭素社会への諸事業に一貫性がない。市民が取り組む地球温暖化対策事業の補助金を下げることが問題あり。 ⑤原発再稼働に前のめりの姿勢は認められない。



反対

持田繁義

### 柏崎の風

市が直面する最重要課題である「人口減少」が進んでも安心して暮らせる地域づくり・人づくりを進め、市民に必要な事業を遂行するための予算編成だと判断した。長期的な視野を持った財政運営、離職防止を重視した人材確保、偏った声に敏感にならない産業支援を進めるとともに、道の駅「風の丘米山」再整備には市内企業、市民の理解を得ることが重要であると申し添え、賛成する。



賛成

山本博文

### 社会クラブ・柏崎のみらい連合

施政方針での基本的な考え方などを基に、五次総後期基本計画の重点戦略が各事業に反映された予算編成となっているか、直面する課題解決に向けた予算であるかを主眼に審査した。議員定数削減後初めての当初予算審査でもあり、丁寧な答弁を受けて慎重審議を行った。困難な時代であるが、櫻井市長を先頭に職員一丸となり、柏崎市の未来のためにまい進されることを期待し、賛成する。



賛成

佐藤正典

### 民社友愛

人材育成・確保、産業振興、行財政改革、原子力行政など四つの視点から評価する。その中の一つ、ものづくり産業を筆頭にあらゆる産業の人材育成・確保に積極的な予算配分がされている。これらの働く者に対する支援策は高く評価できるものであり、こうした施策を通して、柏崎市は働く人を応援するまちであることをアピールし、地域の活力を担う人材育成につなげていただきたい。



賛成

佐藤和典

### 公明党

五次総後期基本計画の重点戦略「子どもを取り巻く環境の充実」と「大変革期を乗り越える産業イノベーションの推進」に予算が重点配分されたが、国の「経済財政運営と改革の基本方針2023」と政策的方向は同じである。少子高齢・人口減少への対応、全ての分野における人材育成・確保に配慮し、地域循環型経済の構築および災害に強いまちづくりを目指した予算だと理解し、賛成する。



賛成

真貝維義

# 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する請願を採択

## ～2月定例会議で審議しました～

市議会は、経済関係6団体（柏崎商工会議所、柏崎市商工会、荒浜21フォーラム、柏崎エネルギーフォーラム、柏崎青年会議所、柏崎青年工業クラブ）から提出された「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する請願」を審査しました。

請願の趣旨は「柏崎刈羽原子力発電所において国の新規規制基準に適合すると判断された号機について、一日も早い運転再開を求める」ものであり、

あわせて「政府並びに新潟県に対しても、本請願の趣旨実現のための働きかけを求める」というものです。

3月21日の本会議では8人の議員が討論を行い、採決の結果、賛成16人・反対5人の賛成多数で採択されました。議員の賛否状況は7ページをご覧ください。



請願  
(PDF)



録画映像



反対討論	賛成討論
池野 里美（無党派） 持田 繁義（日本共産党柏崎市議員団） 星野 幸彦（社会クラブ・柏崎のみらい連合）	近藤由香里（柏崎の風）、相澤 宗一（民社友愛） 重野 正毅（柏盛クラブ） 布施 学（自治研究会）、真貝 維義（公明党）

## 国と新潟県に再稼働を要望

請願が採択されたことを受けて、柄沢議長が刈羽村議会の廣嶋議長とともに国と新潟県に対して柏崎刈羽原子力発電所の再稼働を要望しました。

再稼働を  
要望



村瀬資源エネルギー庁長官(右から2人目)に要望書を手渡す柄沢議長(3月25日 経済産業省)



笠島副知事(奥の左側)に要望を伝える柄沢議長(手前中央)(3月26日 新潟県庁)

# 令和6(2024)年2月定例会議常任委員会での審査について 報告します

## 総務常任委員会

■委員長 佐藤正典 ■副委員長 近藤由香里  
■委員 布施 学・山本博文・持田繁義・佐藤和典・星野正仁

### 4件の議案を審査しました。

#### ・副市長定数条例の一部を改正する条例

##### 概要

条例で定める副市長の人数を「2人以内」に改正し、市政執行力の強化を図るもの。

##### 主な質疑

- Q 役割分担と今後の進め方は。
- A 人事案件として議決を得た後に、役割分担

に関する規則を定める。規則は柏崎市例規集（ホームページ）などで公表する。

- Q 条例改正の提案に至る検討の経緯は。
- A 市長の考えを受け、三役（市長、副市長、教育長）で方向性を定め、総合企画部で事務的な手続きを進めた。

## 文教厚生常任委員会

■委員長 春川敏浩 ■副委員長 五位野和夫  
■委員 星野幸彦・三嶋崇史・西川弘美・重野正毅・上森 茜

### 10件の議案を審査しました。

#### ・障害者相談支援事業の委託料に係る消費税取扱いの誤りにより発生した損害に係る和解及び損害賠償額の決定について

##### 概要

契約時の消費税取り扱い誤りにより発生した事業者の損害に対し、和解のための賠償金を支払う。

##### 主な質疑

- Q 事案の経緯と対応内容は。
- A 国の周知不足もあり、課税事業である障害者相談支援事業を誤って非課税扱いとしてきた。本来事業者を支払うべき消費税と、その延滞税額を過去5年分さかのぼって支払うことにより、和解したい。

## 産業建設常任委員会

■委員長 阿部 基 ■副委員長 田邊優香  
■委員 山崎智仁・池野里美・三宮直人・相澤宗一・真貝維義

### 3件の議案を審査しました。質疑はありませんでした。

#### ・企業振興条例の一部を改正する条例

##### 概要

地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の適用企業の設備導入を支援するため、固定資産税の課税を免除する規程の追加を行うもの。

#### ・市道路線の認定について

##### 概要

柏崎4-78号線（北園町）は道路改良に伴う認定。柏崎4-79号線（桜木町）は地元町内会長の申請による認定。柏崎16-92号線（大字青海川）は、道の駅「風の丘米山」の再整備に伴う認定。



committeesの録画映像は **YouTube** で  
 見ることができます



審査結果

## 予算決算常任委員会

■委員長 重野正毅 ■副委員長 持田繁義

※分科会長・副分科会長・委員は、各常任委員会の委員長・副委員長・委員と同じ。

令和5(2023)年度一般会計補正予算(第20号)など、21件の議案について審査しました。

※令和6(2024)年度予算案の審査は6・7ページに掲載。

### 総務分科会

#### 令和5(2023)年度一般会計補正予算(第20号)

##### ・不法投棄防止対策費(▲4006万7000円)

###### 概要

旧米山牧場跡地の廃タイヤ処理費用の減額。

###### 主な質疑

Q なぜ減額が生じたのか。

A 4カ月で約1万6000本のタイヤ処理を見込んだが、搬出用仮設道路の工事が終わった10月末から降雪までの約2週間で約1000本しか処理できなかった。

Q 2カ年の計画内で処理は完了するのか。

A 1日に約500本の廃タイヤを処理する計算で、残り約3万9000本を令和6年度に処理する見込みである。降雪などの影響も鑑み、柔軟に対応したい。



旧米山牧場の廃タイヤ▶

### 文教厚生分科会

#### 令和5(2023)年度一般会計補正予算(第21号)

##### ・荒浜小学校改築事業(15億1325万円)

###### 概要

国の補正予算に伴い交付金の交付決定を受けたことから、令和6年度予算で措置していた工事の費用を令和5年度予算に追加する経費。

###### 主な質疑

Q 改築工事の進捗に影響はあるのか。

A 工期自体に影響を及ぼすものではない。

### 産業建設分科会

#### 令和5(2023)年度一般会計補正予算(第20号)

##### ・特定空家等解体撤去工事(▲1700万円)

###### 概要

特定空家解体撤去事業費確定による減額。

###### 主な質疑

Q 減額の理由は。

A 物価高騰などの影響が想定より少なかったため。

##### ・消融雪施設維持管理費(▲2643万7000円)

###### 概要

国の交付金減額による県の消雪パイプ更新工事取りやめに伴う市の工事負担分の減額。

###### 主な質疑

Q 消雪機能に支障はないのか。

A 問題はない。



## 一般質問とは

皆さんの暮らしに関わる大切なことについて、議員が市に対して質問する場です。あなたはどんなことに興味がありますか？

質問項目 



## 災害対応



**Q** 令和6年能登半島地震で顕在化した課題と今後の対策

**A** 検証結果を踏まえハザードマップに基づく津波災害時の正しい対応を周知する

**質問** 令和6年能登半島地震により顕在化した課題に対する今後の対策を伺う。

**回答** 津波警報発表後、サイレンを流し続けて住民の不安を増長させ、避難による交通渋滞を招いた。今後は防災ガイドブックに津波災害時の正しい対応を盛り込み、ハザードマップに沿った避難行動を周知し、訓練などにも反映させて災害対応力の向上を図る。

**他の質問** 持続可能な柏崎刈羽原子力発電所との共生



動画でチェック

## 避難所備蓄体制



**Q** 避難所用の備蓄量は何を基準にしているのか

**A** 中越沖地震の最大避難者数、人口の12.5%を基準に飲食料を備蓄している

**質問** 災害時に住民の何割が何日間、避難できる量を備蓄しているのか。

**回答** 中越沖地震の最大避難者数を基に人口の12.5%の方の1食分を備蓄している。発災初日は個人で、2日目からは3食のうち1食を市の備蓄で、2食目を市と事業者との災害協定による物資調達で、3食目以降は県と他市町村での対応を基本とする。

**他の質問** 令和6年能登半島地震の被災住宅への対応



動画でチェック

## 自主防災組織



**Q** 防災士を活用して自主防災組織力の強化を

**A** 地域で活躍する防災士を育成し、地域防災力の向上を目指す

**質問** 自主防災組織の運営が困難な町内会も多い。防災士を活用した自主防災組織の活性化について見解を伺う。

**回答** 防災士の出前講座参加やブロック別のフォローアップ研修で、地域住民との連携による地域防災への意識向上を図っている。地域内で活躍できる防災士の育成を後押しし、地域防災力の向上に努めていく。

**他の質問** 消防団員の課題、ICTの活用状況



動画でチェック

## 自殺対策



相澤宗一

**Q** インターネットを駆使したゲートキーパーの活用

**A** 良いサービスではあるものの、費用対効果などを考えると慎重な検討が必要

**質問** 相談機会をより多く持たせるためにもインターネットでの検索連動型広告を活用して、積極的に手を差し伸べる相談体制の構築を図るべきではないか。

**回答** 少子高齢化による人材不足、デジタル社会への移行を踏まえればその活用は不可欠だが、今後の社会情勢を注視し相談体制の構築について研究を重ねていきたい。

**他の質問** 実働可能なAEDとするために



動画でチェック

## 事業者支援



阿部 基

**Q** 気候変動により収益減少した業者支援の基準を問う

**A** 気候変動・業界動向・経済情勢を踏まえて柔軟に対応する

**質問** 昨年的高温・渇水の影響で減収した農業者に支援金を給付したが、今冬の小雪で除雪業者なども収益が減少したと思われる。支援の基準を明白にする必要がある。

**回答** 事業者自身で保険を含めたりリスクマネジメントが必要と考える。支援の明確な基準は定めず、その時々状況を適切に把握し、柔軟に対応していきたい。

**他の質問** 人口減少対策の取り組み、市民や企業への広報の在り方



動画でチェック

## 住宅耐震化



佐藤正典

**Q** 地震による住宅などの倒壊・損壊から市民を守るために

**A** 市内の住宅の耐震化率は約89%、生命を守るために住宅の耐震化は重要

**質問** 令和6年能登半島地震の現状を踏まえ、耐震化促進がさらに必要ではないか。

**回答** 令和5年度に木造住宅耐震改修への補助を拡充し、木造住宅耐震診断の受付期間を年度末まで延長した。令和6年度には耐震性のある住宅への建て替え・住み替えを促進するために、旧耐震基準の住宅取り壊しに対する補助制度創設を予定している。

**他の質問** ほか



動画でチェック

## スポーツ振興



山本博文

**Q** 大谷選手寄贈のグローブとスポーツを楽しむ取り組み

**A** グローブは各校で工夫して活用。各種スポーツを楽しむ機会を提供

**質問** メジャーリーグの大谷選手から小学校に寄贈されたグローブの活用と、子どもたちがスポーツを楽しむための取り組みは。

**回答** 大谷選手の思いや生き方に触れながらスポーツに親しんでもらいたい。活用方法は各学校で工夫している。教育委員会ではスポーツを楽しむ教室やいくつもの競技スポーツを体験できるイベントを行っている。

**他の質問** 柏崎市一般廃棄物（ごみ）処理最終処分場、海岸漂着物の処理



動画でチェック

## 避難計画



星野 幸彦

**Q** 能登半島地震による避難の課題に対してどう考えるか

**A** 複合災害のさまざまな事態を想定して訓練を重ね、対応力の向上を図る

**質問** 原子力災害と自然災害の避難計画に矛盾がある。複合災害時に市民が混乱する懸念があるが、令和6年能登半島地震による避難の課題に対してどう考えるか。

**回答** 豪雨・降積雪・夜間など複合的な要素が重なる場合の避難困難さが指摘されている。複合災害のさまざまな事態を想定して訓練を重ねることで対応力の向上を図る。

他の質問



動画でチェック

## 学校教育



池野 里美

**Q** 笑顔で通いたくなる学校づくりのための現状と課題

**A** 少人数学級の実現は国・県へ要望、支援員などの拡充配置などが課題

**質問** 校長・教頭先生まで授業に入るなど、教職員不足で学校に余裕がないように感じるが、市としてどう捉えているか。

**回答** 少人数学級の実現を要望している。市としては指導補助員、部活動指導員、スクールサポートスタッフなどの適切な配置と地域コーディネーターの後継者育成などが課題と考えている。

他の質問 ほか



動画でチェック

## 不登校支援



重野 正毅

**Q** 不登校支援の場としてのフリースクールとの連携

**A** 民間支援団体とどのような連携ネットワークがつけられるか検討していく

**質問** 居場所や学習支援の場としてのフリースクールとの連携の在り方の考えは。

**回答** 文科省は多様な教育機会を提供しているフリースクールとの連携の必要性も指摘している。4月から重層的支援体制が事業として位置づけられることを踏まえ、フリースクールなど民間支援団体とどのような連携ネットワークがつけられるか検討していく。

他の質問 こどもまんなか社会の機運醸成



動画でチェック

## 災害時福祉支援



西川 弘美

**Q** 災害時の福祉的支援体制における課題と取り組み

**A** 避難行動要支援者への支援体制、地域・専門機関との連携体制の強化に努める

**質問** 災害時に支援を必要とする高齢者や障がい者などに対する避難支援体制や地域連携の状況は。また、DWA T（災害派遣福祉チーム）との連携体制構築について伺う。

**回答** 避難行動要支援者名簿・個別避難計画の支援体制を、地域や支援者の意見を聞きながら見直している。DWA Tは受け入れ体制について今後検討していきたい。

他の質問 がん治療患者のアピアランス（外見）ケアへの支援



動画でチェック

## 住宅耐震化



山崎智仁

**Q** 耐震化の促進と  
住民ニーズの把握

**A** 耐震化の支援は拡充している。さらなる住民ニーズの把握に努める

**質問** 災害対策としての住宅の耐震化は、費用負担が高額となる。住民ニーズを踏まえ、柏崎市耐震改修促進計画で検討するとしている部分耐震改修も進めてはどうか。

**回答** 近隣家屋や道路に影響を及ぼす住宅の倒壊を防ぐために住宅全体の耐震化を促進する施策を拡充している。耐震に対する市民のニーズを探りながら検討を続ける。

**他の質問** 原子力防災における屋内退避の考え方



動画でチェック

## 原子力防災



真貝維義

**Q** 耐震化補助率の  
かさ上げを国に要望  
すべき

**A** 原子力発電所立地地域における耐震化の新補助制度を国へ要望する

**質問** 原子力防災時、家屋が倒壊しては屋内避難ができない。立地地域の耐震化促進には補助率のかさ上げが必要ではないか。

**回答** 原子力災害である前に一般災害を含め耐震化率を上げることが大事。全国の原子力発電所立地自治体とともに、PAZ・UPZ圏内における新たな耐震化の補助制度を国に対して要望していく。

**他の質問** 2040年問題、柏崎市の将来予測と政策課題 ほか



動画でチェック

## 防災



布施 学

**Q** 災害時の地理院  
地図活用を市民に周  
知してはどうか

**A** 市公式HPにリンクを掲載し、防災ガイドブックにもQRコードを掲載する

**質問** 津波避難時の標高検索などに地理院地図は非常に有用であると思われる。防災ガイドブックにQRコードを掲載して、スマホなどからアクセスしやすくできないか。

**回答** 地理院地図は災害時に極めて有用なツールである。防災ガイドブックにQRコードを掲載するとともに、災害時の市公式HPの分かりやすい位置にリンクを掲載する。

**他の質問** 人口減少社会から来るエッセンシャルワーカー不足 ほか



動画でチェック

## 学校教育



持田繁義

**Q** 不登校問題への  
対応には学校教育全  
体のゆとりが必要

**A** 指導補助員などスタッフを配置し、児童・生徒への丁寧な対応を支援

**質問** 教職員がいきいきと働ける条件を整えることは、子どもたちの教育条件を整えることである。不登校問題に対応するためには、学校教育全体のゆとりが求められる。

**回答** 学校現場の人手不足解消につながる法改正を国へ要望している。市では指導補助員などのスタッフを配置し、児童・生徒一人一人への丁寧な対応を支援している。

**他の質問** 柏崎市の人口減少と対策 ほか



動画でチェック

# 先進地を 視察しました



## 柏崎刈羽原子力発電所に関する調査特別委員会

■ 11月27日(月)～28日(火)



楢葉遠隔技術開発センター

### 学んできたこと

- 廃炉技術の開発状況
- 福島第一原子力発電所廃炉作業の進捗状況
- ALPS 処理水の海洋放出状況など



特別委員会

ここに注目!

### 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 (JAEA) 楢葉遠隔技術開発センター (NARREC)

福島第一原子力発電所(1F)の事故に伴う総合的な研究開発機関として、廃止措置に向けた技術開発と実証実験を行う施設である。具体的には、1Fの廃炉に向けたロボットをはじめとした遠隔操作機器やVRの技術開発と実証実験を行っている。1Fの廃炉と福島復興を担っている施設であると感じた。

### 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所

事故から12年が経過した福島第一原子力発電所の現状と1号機～4号機の廃止措置(廃炉作業)、特に今年の8月から開始したALPS処理水海洋放出の進捗状況と今後の展望を調査し、本特別委員会における議論の参考とすることを目的に視察を行った。廃炉作業の実施には、技術的な戦略が必要になると感じた。

## 議会広報広聴常任委員会

■ 1月24日(水)～25日(木)



北本市

### 学んできたこと

- 議会モニター制度
- 議会意見交換会 議会報告会
- SNSの活用



広報広聴常任  
委員会の活動

ここに注目!

### 上越市

議会報告会・意見交換会での課題解決のため、『ご意見を聴く会』、『議員と気軽にトーク』、『YouTube配信』また各層との意見交換など取り組みのリニューアルを進めている。若年層へのアプローチなどについて大いに参考となった。

### 埼玉県北本市

議長の諮問により議会モニター制度を導入し、試行錯誤しながら取り組みを深めている。議会報告会・意見交換会は年間4回実施するなど広聴活動が充実していた。

### 埼玉県戸田市

議会モニター制度について導入の経緯、課題や運用。また市議会見学ツアーや中学生との意見交換会、Facebookの活用などの取り組みを学んだ。SNSの活用は調査研究が必要と感じた。

# 「<sup>かい</sup>隗より始めよ」より積極的、能動的に

新年度のスタートに当たって



議長あいさつ

昨年度は改選に伴い、研修会などを重ね、主に議会全体のボトムアップを図ってまいりました。今年度は2回の意見交換会と、姉妹都市議会との合同研修会、第14回原子力発電所立地議会サミットなどを予定しています。

このたび、早稲田大学マニフェスト研究会が行った「議会改革度調査2023」で、回答した全国1,562議会中、総合45位（県内1位）となりました。

議会は「だれのために存在しているのか」を念頭に置き、市民に開かれた議会の実現、政策立案活動の質的向上、市政執行の監視強化、そして議会改革のさらなる推進に果敢に取り組みます。柏崎市のさらなる発展、市民福祉の確かな向上のために「市民の信託に応える合議体たる議会づくり」を進めてまいります。



議長 柄沢 均

## ■中学校区で意見交換会を実施しました

4月22日（月）から25日（木）までの4日間で、11中学校区のコミセンなどを会場に令和6（2024）年度第1回の意見交換会を実施しました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

お寄せいただいた意見などは、市議会ホームページと8月5日発行のギカイのとびらに掲載します。



意見交換会

## ■政務活動費のデジタル化を試行します

令和6（2024）年6月から政務活動費管理クラウドシステム「セムカン」を試験導入し、政務活動費に関わる事務作業のデジタル化に取り組みます。事務作業の効率化だけでなく、政務活動の見える化\*をより進める効果が期待できます。セムカンを導入することで政務活動の活性化を図るとともに、議会活動のレベルアップとさらなる住民福祉の増進を目指します。

（\*）セムカンで作成する令和6（2024）年度の収支報告書などは、令和7（2025）年6月以降、市議会ホームページから閲覧できる専用ページで公開する予定です。



政務活動費

# ギカイのうごき

CHECK!

1

## 議員としての言動を見つめ直す

～議員研修会を開催しました～

議会運営委員会  
の活動



都道府県議会制度研究会委員（元全国都道府県議会議長会事務局次長）の内田一夫氏を講師に招き、議員のコンプライアンスをテーマに研修会を開催しました。議員として「やるべきこと」と「やってはいけないこと」について学びました。



1月11日 委員会室

CHECK!

2

## 柏崎刈羽原子力発電所に関する説明を受ける

～全員協議会を3回開催しました～

議会全員  
協議会



### ■1月22日（月）

柏崎刈羽原子力発電所の追加検査結果など（原子力規制庁からの説明）

### ■1月26日（金）

柏崎刈羽原子力発電所で実施している核物質防護強化の取り組みや、発電所の安全性を向上させる取り組みの状況（東京電力ホールディングスからの説明）

### ■2月14日（水）

原子力防災およびエネルギー政策（内閣府、資源エネルギー庁からの説明）



2月14日 議場

## ■2月随時会議を開催しました

2月2日の随時会議で、令和5（2023）年度一般会計補正予算（第18号）が可決されました。ふるさと納税制度を活用し、災害支援として、令和6年能登半島地震により大きな被害を受けた石川県志賀町を対象とする代理寄付の受け付けを行うために必要な経費のほか、エネルギーおよび食料品価格などの物価高騰の影響が大きい住民税均等割のみ課税世帯などを支援するための経費など、総額2億8250万円の予算が増額されました。



## 令和6年能登半島地震対応への意見・要望

～市民の声を踏まえて会派代表者会議で取りまとめました～

意見・要望書  
(PDF)



1月1日に発生した令和6年能登半島地震の行政の対応に関する意見・要望を市長に提出しました。

### ■主な意見・要望（概要）

- 1 自主防災組織の強化に向けた取り組みを進めること
- 2 津波避難による渋滞発生を検証と対策を行うこと
- 3 避難所・避難場所の周知・啓発を行うこと
- 4 防災ガイドブックについて、改めて周知・啓発を図ること      ほか



左から櫻井市長、柄沢議長、重野副議長、  
会派代表者（2月2日 市長応接室）

### ■議案審査以外の活動事例（内容）

前月までの  
議会の日程



1月12日（金）	柏崎刈羽原子力発電所に関する調査特別委員会第一部会の視察（新潟県柏崎刈羽原子力防災センター）
1月12日（金）	産業建設常任委員会の視察（市内事業所）
1月16日（火）	文教厚生常任委員協議会（教育委員会からの報告）
1月17日（水）	産業建設常任委員会と柏崎青年工業クラブとの意見交換会
1月19日（金）	総務常任委員協議会（調査研究テーマについて担当課との意見交換）
2月16日（金）	文教厚生常任委員協議会（福祉保健部からの報告）
2月19日（月）	産業建設常任委員協議会（産業振興部からの報告）
2月19日（月）	文教厚生常任委員協議会（福祉保健部からの報告）
2月20日（火）	総務常任委員協議会（総合企画部からの報告）
3月12日（火）	総務常任委員協議会（消防本部、市民生活部からの報告）
3月14日（木）	文教厚生常任委員協議会（教育委員会からの報告）
3月15日（金）	総務常任委員協議会（財務部からの報告）
3月26日（火）	総務常任委員会（所管事務の調査）

6月

# 定例会議の予定



変更の場合はホームページでお知らせします。本会議は午前10時に開会します。

日	月	火	水	木	金	土
6/2	3	4	5 本会議 議案説明・質疑・付託	6 委員会・分科会 産業建設・文教厚生・総務 (議案補足説明)	7 委員協議会・作業部会 産業建設・文教厚生・総務 (論点整理)	8
9	10 本会議 一般質問	11	12 本会議 一般質問	13 本会議 (一般質問・予備日)	14 委員会・分科会 産業建設	15
16	17 委員会・分科会 文教厚生	18 委員会・分科会 総務	19 (委員会・予備日)	20 委員会 予算決算	21 本会議 委員長報告・採決	22

本会議・委員会は、インターネット中継でご覧いただけます。録画映像と会議録も公開しています。



議会日程



中継・傍聴  
・会議録



## ■ウェブサイト・無料アプリで「ギカイのとびら」を読むことができます

パソコン・スマートフォン・タブレットで、手軽に閲覧できます。

ウェブサイト  
・無料アプリ



## ■点字訳・音声訳の「ギカイのとびら」を配布しています

お申し込みは福祉課へ。

TEL 0257-21-2299

FAX 0257-21-1315

点訳・音訳



## 編集後記

植物が果たす防災の役割について、石川県内灘町の話を知ることがあります。内灘町では日本海からの飛び砂などによる被害を防ぐため、大正時代から年月をかけてアカシア（ニセアカシア）が植樹されてきました。現在では林帯遊歩道となり、町民の憩いの場と

して親しまれています。

5月に見頃を迎えるアカシアが甘い香りとかれんな花で、地震で被災された方々の心を癒やしてくれることを願っています。

議会広報広聴常任委員

西川 弘美

次回発行は8月5日  
お楽しみに

柏崎市議会

検索

### 議会広報広聴常任委員会

委員長 星野幸彦

副委員長 三宮直人

委員

山崎智仁 三嶋崇史 近藤由香里

西川弘美 五位野和夫 相澤宗一

阿部 基 春川敏浩